



実施者

◀ 教員・参加者 ▶

- 2017) 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 製菓、フード・調理、文芸・編集、図書館司書各ブランチ 教員、学生
- 2018) 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 文芸・編集、文芸・メディア、図書館司書各ブランチ 教員、学生
- 2019) 聖徳大学短期大学部 総合文化学科 図書館司書ブランチ、図書館司書・IT コース 教員、学生

◀ 協働パートナー ▶

- 【行政関係】南房総市役所市民生活部市民課
- 【個人】生稲謹爾氏（資料提供）

背景と目的

南房総市の昔話を調査して絵本化し、南房総市内の小学校や幼稚園・保育所などに寄贈する。本学総合文化学科教員の持つ知識と技能、学生の活力と創造力によって制作された絵本を通して、南房総市の子どもたちの郷土への関心や郷土愛の向上を促し、地域活性化に貢献していくことを狙いとして実施したものである。絵本化した作品の原本は、南房総市に在住する昔話研究家、生稲謹爾氏著『南房総市の昔話 第1集』（2016年、NPO法人富浦エコミューゼ研究会）に分類された富浦以下7地区の昔話であり、その中からそれぞれ1〜2話ずつ選定し、絵本を作成した（2019年度には大型絵本も併せて制作した）。それぞれ100〜200部を南房総市役所担当者へ送付し、各機関への配布を依頼した。納品した作品の年度ごとのリストは以下のとおりである。

【2017年度】

- ① 南総昔話・民話集1「天狗と仲良くなった男」
- ② 南総昔話・民話集2「鶴姫の観音」
- ③ 南総昔話・民話集3「うみぼうず」
- ④ 南総昔話・民話集4「竜の目」
- ⑤ 南総昔話・民話集5「真間の古狐」
- ⑥ 南総昔話・民話集6「豆腐が飛んだ」
- ⑦ 南総昔話・民話集7「沓見のバア淵」

【2018年度】

- ① 南総昔話・民話集8「式部の合わせ鏡」
- ② 南総昔話・民話集9「竜王の子の約束」
- ③ 南総昔話・民話集10「栗御飯」
- ④ 南総昔話・民話集11「芋井戸」
- ⑤ 南総昔話・民話集12「白い猪」
- ⑥ 南総昔話・民話集13「鐘ヶ淵の鯉」
- ⑦ 南総昔話・民話集14「狸が漁師を起こす」
- ⑧ 南総昔話・民話集15「風呂屋の客」

【2019年度】

- ① 南総昔話・民話集16「馬に銭を分ける」
 - ② 南総昔話・民話集17「白蛇の恩返し」
 - ③ 南総昔話・民話集18「サザエの壺焼き」
 - ④ 南総昔話・民話集19「俣狐に化かされた魚屋」
 - ⑤ 南総昔話・民話集20「どっこいしょ」
 - ⑥ 南総昔話・民話集21「生き馬の目」
 - ⑦ 南総昔話・民話集22「勘解由どんの猫」
 - ⑧ 南総昔話・民話集23「鬼子母神」
 - ⑨ 南総昔話・民話集24「蛇の岩」
- 紙芝居（大型絵本）
- ① 海坊主（文芸・編集2年）
 - ② 生き馬の目



成果と課題

● 地域貢献面

南房総市への貢献は、絵本の反響等によるが、測定に至っていない。本学の大学祭や松戸市・岩瀬自治会の文化祭等でも、絵本を展示・配布し、広く南総の昔話を知ってもらう機会を設けている。

● 教育・研究面

絵本制作を通じて創造力を開発し、PC活用技能を習得することができた。

● 課題

生稲氏の著書に依拠するばかりで、類書の調査に不足が感じられた。実地踏査の機会を持たなかったため、実際の見聞を活かすことができていない。

今後の展開

絵本の続編を作成するとともに紙芝居にも取り組み、読み聞かせの機会を持つ計画である。

***表彰・マスコミ掲載など**

- ・房日新聞（令和2年1月21日号）



1 絵本制作風景
<2017年度>

2 絵本「天狗と仲良くなった男」
3、4 制作した学生

<2018年度>

5 2018年度作品の表紙
6、7 絵本制作チーム

<2018年度>

8 2019年度作品の表紙
9 房日新聞（令和2年1月21日号）